

4月16日（木）から4月18日（土）にかけて静岡県の御殿場市で行われた「第51回セントラルジャパンホルスタインショウ」に、本校酪農部の生徒8人と本校で飼養しているホルスタイン種の「シナモンスूसー」が参加しました。乳牛の改良の成果を披露し競い合い、高め合うことを目的としたこの大会は、関東地区以外にも京都府や岡山県などからも参加がありました。

シナモンスूसーは生後18ヶ月～21ヶ月未満の牛の部門「4部」に出場。入賞は逃しましたが、リードマン（牛の引き手）を務めた生徒もシナモンスूसーも健闘しました。

17日に行われた、引き手の技術を競う「学生リードマンコンテスト」では、畜産科学科3年の宮岡梓さんが大学生も参加する「高校3年生以上の部」で29人中5位に、畜産科学科3年の神谷春花さんが7位入賞を果たしました。

宮岡梓さんの感想

「共進会にリードマンとして参加したのは、前回の神奈川県共進会が初めてだったので、今回は予選を突破出来れば上出来だと思っていました。腱鞘炎というハンデを背負いながら、上位5位という結果で、選ばれた時は思わず涙目になってしまいました。大会中は4時起きだったので早起が辛いと思っていましたが、今回のリードマンコンテストに出場できて良かったと心の底から思いました。別の大会でも良い結果を残せるよう頑張りたいです。」

神谷春花さんの感想

「正直、ここまで上手く引けるとは思ってもいなかったです。ですが、コツコツ練習を積み上げた結果が発揮できたのだと感じました。今回、酪農家さんの牛を貸りてコンテストに出場したのですが、その牛がとても良い子で、指示をよく聞いてくれたこともあり、掴みとれた結果だと思います。反省点としては、審査員をしっかり見ることで、前の人との間隔を開けすぎないこと、そして、腕力が足りていなかったため、長時間頭を支えられるような力を付けることだと考えてます。次の共進会までに改善していきたいです。」

神奈川県の酪農家さんや相原高校養牛部の生徒、他県の農業高校生とも交流を深めることができ、生徒たちの成長につながりました。



宮岡さん



神谷さん



参加生徒とシナモンスूसー